

普遍性と時代性
その隙間にあるオリジナリティ

PROFILE



デザイナー 辻村久信さん

建築・内装・家具とカテゴリーにとらわれない活動で評価を得るマルチデザイナー。最近では「リコルディ」の内装、自身のショールーム「MOON」などを手掛ける。クールかと思いきや超気さくな方で、個人的にもいろいろ気になる話を聞かせてもらっちゃいました。

目立たないのに個性的
そんな引っかけがあるもの

「目立たないのに個性的」な家具や空間をデザインする辻村さんの「目立たない」の定義は「目立たないこと」から始まり「目立たない」ことではない。



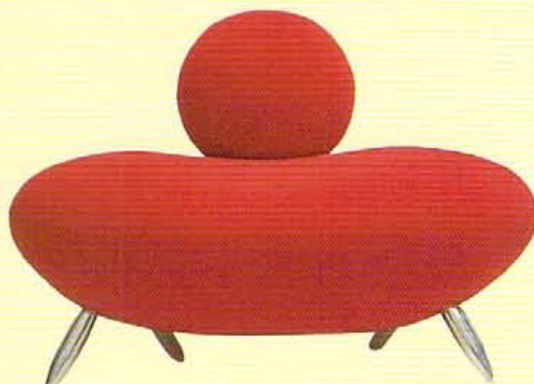
辻村さんの手掛ける家具や空間は、近未来的なポップアートをもちつつ、古い町家にもしっくり溶け込む。過剰な情念やアークは感じられず、それでいて鮮烈な印象を与える。「僕の考えるデザインは普遍性・時代性・個性のバランス上にあるもの」「過激さのなを醸う一発屋的なアヴァンギャルドとは違う。「目立たないのに個性的で何か引っかけを感じる」。彼のセンス「目立たない」のは繰り返す時代の流れの中でも、古くなるどころかますます研ぎ澄まされていくもの。それは彼の構築する新たな「伝統」でもある。「大衆が潜在的に求める根源的部分を、常に予期せぬ形で出していきたい」。そんな彼が最近アンスパイアされたものとして12モンキーズやタランティーンの1連の映画を挙げていたのも、意外なところで頷ける話なのだ。



辻村氏のオリジナル家具を専門に展示・販売する「MOON」(静岡市清水区上北町1-10-12)の理由で「目立たない」がキーワード。建築・内装・家具とカテゴリーにとらわれない活動で評価を得るマルチデザイナー。最近では「リコルディ」の内装、自身のショールーム「MOON」などを手掛ける。クールかと思いきや超気さくな方で、個人的にもいろいろ気になる話を聞かせてもらっちゃいました。



ハイテクな質感とロウな青やレンガの色合いが絶妙のハットスタンド。色の上には引き出した微妙な光沢は、大理石の表面でみられるものと同様に微妙な色味を帯びている。



「個人的な作品として作った初めてのもの」。10年前メーカー依頼で制作した「メイクティム」。背部分のボールなど個性的だが、意外とおカタイ公共機関にウケがいいとか。

その名も「マーブル」なるチェアは、キャスターで動きまわるカワイイヤツ。「もうちょっとマーブルチョコみたいになりたい」。カラフルな色を揃えてグルグルやって遊びたい。(伊藤道か)



「デザイン上では予期できないラインが出しすぎて」。骨と皮膚をテーマに、金属フレームにレオタード生地を張り付け、困難な3次曲線を生み出したパーテーション。実は懐かしのファンシーケースの近未来型！



取材・文/井口啓子 ★写真/武蔵育子